●里山農園一斉草刈り作業

25日土曜日に予定していましたが、残念ですが、朝7時現在、雨なら作業は中止と決めていたので自動的に中止されました。近年にない長梅雨になって、梅雨明けは8月になるようです。日照時間が少なく気温も低めのようなようです。東北地方に梅雨最後の大雨が続いています。月が替わると猛暑が襲ってくるでしょう、雑草の繁茂が勢いを増してきます。里山農園の草刈りを急がなければなりません、8月1日の午後3時ごろからでも始められたらと思っています、ご協力をお願いします

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 8月1日初日

例年は7月20日ころから夏休みが始まるのですが今年はコロナウイルスの関係で宇治市は1日、城陽市は6日、八幡市や京田辺市は8日からとなっています。私たち里山の会は木津川河川レンジャーと共催で地域別にこの夏休みに例年通り「親子で遊ぼう学ぼう魚とり」を開催します。コロナウイルス感染防止のために密閉、密接、密集対策のため、参加規模を縮小しました。計画している4回とも定員オーバーで締め切りとなりました。総参加者は200人近くになっています。参加される皆さんは魚とり用の「たも網」をご用意お願いします。また帽子や水筒、水中でも脱げない履物は必須ですからご注意ください。何よりも梅雨が明けて直後の猛暑になりますので、暑さ対策は十分に注意してください。くれぐれも体調管理には配慮をお願いします。急激な気候変動で危険と判断しましたら、プログラムの途中でも中止し切り上げなければならない事態も発生するかもしれませんので、その節にはご協力お願いいたします。

●25周年記念誌表紙案提案

今年はやましろ里山の会が1996年に任意団体として結成されて25年を迎えることとなります。昨年その記念日を12月12日に開催を決定いたしました、そのための準備を始めてきました。その取り組みの一つに記念誌の発行も予定し準備がされてきました。活動の年譜表と活動日程とその結果の日記が80%ほど完成してきました。それらを記念誌としてまとめるための表紙案が提案されました、振り返ると何よりも絶滅していたとされていたレンリソウ、そして京都府の絶滅の恐れがあると指定されているフナバラソウ、ヤマトサンショウウオは外せないのと、現在最も強く大きな課題として取り組んでいるイタセンパラの4つの写真を取り入れています。まだまだ期間がありますので、会員諸氏から積極的な対案があれば大いに取り入れさせていただきます。紙ベースでの配布に加えてCDで全会員とこれまで登録されていた皆さんに届けられたらという意見をもいただいています。積極的なご提案を頂けましたらと思っています。

●中聖牛製作大筋の日程案と材木入荷日が決まる

昨年は第三群(3基)の中聖牛を設置しました。その折りに静岡県県の土木課の皆さんが作業のお手伝いと視察を兼ねておいでになっていました。そして大井川で大聖牛の設置を実行されました。これまでは原小組さんがその技術を会社の財産として保持されてきていました。その技術を里山の会と京都大学が木津川で実際に生かして竹蛇籠の設置や、中聖牛の設置を試みてきました。その成果を確認された静岡県が近代河川土木技術に並ぶ河川工法として認定されて大井川で実行されました。木津川では京都大学と里山の会と京の川の恵みを活かす会が共同して国交省の支援も得て試行的に実施してきました。それが正式に大井川で採用されたのです。

これまで3回の取組みで、曲がりなりにも竹蛇籠の製作技術は学びました。今年は3回の中聖牛の組立ての経験から、里山の会自力で中聖牛の完成を目指してと決意しています。従来に比べて2か月ほど早く木材の入荷をお願いして、8月中に1組を完成させる計画です、残りの2基は11月初旬にと計画しています。

●蛇籠製作方針 9月12日

これまで蛇籠の製作は毎年9月中旬の土曜日を初日として開始してきました。今年も例年通り9月10日の竹の納入日として予定しています。竹の選別を3日の午後2時から木津川市の御藪で行う計画です。蛇籠製作は9月12日土曜日9時30分から12時30分を予定しています。翌日の13日も同時刻から開始予定です。

以後土・日、祝日の午前中を製作講習会として開催いたします。製作本数は27本で長さは4mで直径45cmの六つ目編み籠です。参加希望者に蛇籠製作のCDを無料で送付させていただきますので、住所氏名年齢電話番号及びメールを連絡ください。事前に手順を理解していただいて実践に役立てていただきます。CDはご参加いただける方のみにサービスとさせていただきます。製作期間は9月12日から10月18日の土日と日祝祭日の15日間です。準備しているCDは50枚で先着参加申込者となりますのでご注意ください。なおCDのみの希望者には郵送料（450円及び協力金1000円をご負担ください。郵便口座振り込みが届けたい郵送いたします。郵便口座番号 00950-7-46840 やましろ里山の会です

●今年の会費納入状況は例年に無い異常な状態になっています。納入を頂きたく下記のお願い書をお届けいたしました。

コロナウイルスで大変ですね、お変わりございませんか。おかげで里山の会は12月12日に結成25周年としての記念の取組みを準備しております。同封いたしました年譜をご覧くださいとおわかり頂けますようにイベント総参加者1万人を超えています。イベント数も3000回を超え、決算総額は12000万円を超えました。そして木津川の植物種数は917種を数え草花を観察標本化し標本写真集や写真集に加え、京都府植物誌目録ノートで4000種が記録されたことを明らかにいたしました。そして2020年度はトヨタ環境活動助成金（全国6団体の一つに選定）を頂き木津川で天然記念物イタセンパラの復活を目指す取組みを開始しています。もちろん京都府が指定している絶滅の恐れのある生き物としてヤマトサンショウウオやフナバラソウ、レンリソウの生育管理を行っています。またカラー印刷機や自動草刈り機など事務機や農機具も充実することが出来ています。2019年度の決算総額は借入金も含めて1400万円に到達しています。

こうした実績はいずれも本会の「自然を大切に作る仲間の輪を大きくする」スローガンの実現に向かって社会貢献を行っている活動を企業や官庁が理解いただき、助成金や交付金また業務作業などが得られ継続出来ているのです。

本会運営の基本である会費収入は会員の高齢化や固定化などによって減少が続き、全収入に占める割合は2%に落ち込んでいます。そのうえ未納入者は7月25日現在で会員総数の50%に達しています。昨年度の未納入者は35%に達しています。これでは会費が自主財源基本財政の根幹をなしているとは言えませんのです。非常に厳しい現状です。

各位には誠に申し難いところですが、大至急未納となっている本年度と前年度の年会費のご納入をお願い申し上げます。行き違いになりましたらご容赦下さいね。

先日お届け致しました会誌48号に関わる発行経費は郵送費が高騰いたしまして13万円強となっております。年間2回の発行なので26万円が負担になります。ご負担いただきます年間会費の約50%以上が会誌発行経費となっております。会員各位の物心両面のご協力と関係機関からの受注作業や助成金で運営が継続出来ているのです。

このあたりのところを深くご理解いただきまして早急に未納となっています年会費2年分で4000円、本年度分は2000円なので、納入を心からお願いいたします。

またこうした財政事情をご理解いただけましたら、できるだけ活動支援のためのご寄付もお願い申し上げます。ご無理を申し上げますがどうぞよろしくお願い致します

週刊ニュースは、毎週木曜日の正午頃にホームページを更新しております。これまで835号の発行に到達いたしております。つたない文章ですが是非ご覧になっていただきますとありがたいです。

水曜日の午前中は、事務局会議を開催していますので、会費ご持参ください。また木曜日の午前中みんなパソコン教室なので一度顔をお見せください。拝顔を楽しみにお待ちしております。

理事長 深田三郎 常務理事 山村武正